

### 4月にも鳥インフルエンザ、豚熱が発生しています!



#### 家畜伝染病発生状況（令和4年4月）

（令和4年4月30日現在）

##### 鳥インフルエンザ

発生地	農場	発生日	飼養羽数
青森県 横浜町	養鶏場	4月8日	約17万羽 肉用鶏・平飼い
青森県 横浜町	養鶏場	4月15日	約11万羽 肉用鶏・平飼い
北海道 網走市	家さん農場	4月16日	約600羽 だちょう（エミュー）
秋田県 大仙市	養鶏場	4月19日	約400羽 採卵鶏・ケージ飼い
北海道 釧路市	家さん農場	4月26日	約100羽 だちょう（エミュー）

##### 豚熱

発生地	農場	発生日	飼養頭数
茨城県 石岡市	豚一貫農場	4月13日	約1,000頭
茨城県 城里町	豚一貫農場	4月15日	3,318頭
群馬県 太田市	豚一貫農場	4月22日	約3,000頭

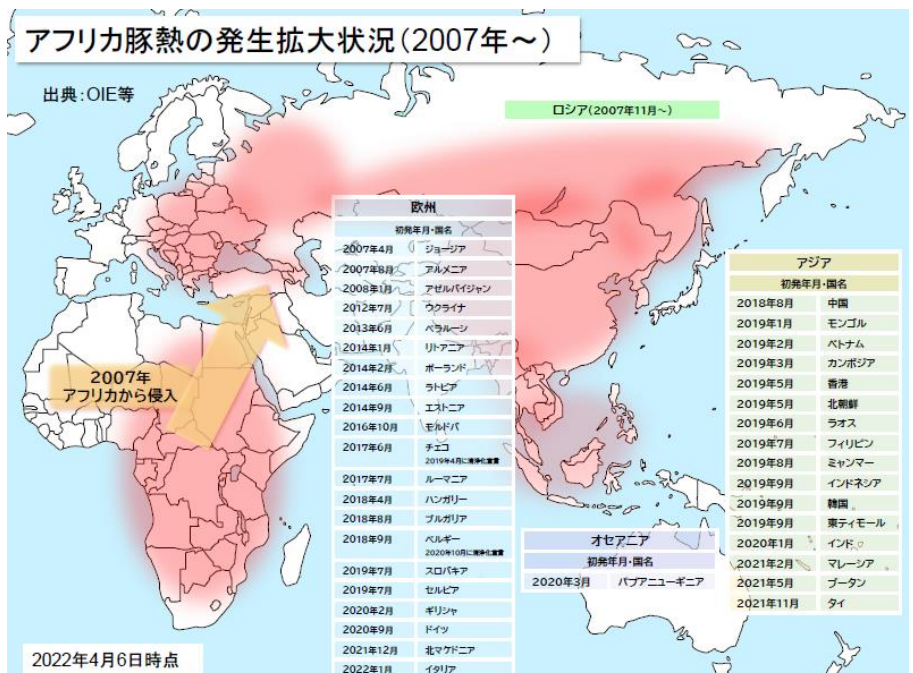


熊本県では11月から4月までを高病原性鳥インフルエンザ特別防疫対策強化月間と定めていますが、最終月である4月に入っても、今シーズンは北海道、東北地方において高病原性鳥インフルエンザの発生が5件みられています。今シーズンでは初めてだちょう（エミュー）での発生も2件確認されました。

また豚熱においても4月だけで関東地方で3件確認され、野生イノシシでは3月に山口県で豚熱のウイルスが検出されています。平成30年9月に岐阜で発生が確認されてから3年以上経過していますが、未だに終息の傾向はみられず、感染の拡大が続いています。

また、海外においても、アフリカ豚熱の発生拡大が続いています。2007年にアフリカから拡がり、欧州・アジア圏で拡大が続いており、日本に侵入してくるリスクが高まっています。

いま一度、飼養者の方々におかれましては野生動物対策、定期的な消毒、ウイルス侵入防止策等の防疫対策の見直し、徹底をお願いいたします。



## 家畜伝染病予防法5条に基づくヨーネ病検査が今年も始まります。

乳用牛において、家畜伝染病予防法5条1項の規定に基づき、ヨーネ病の検査を5月から実施します。検査は5年に一度実施しており、本年度の検査対象地域は

**あさぎり町（上、深田、須恵、岡原地区）、水俣市、芦北町**となっております。

対象地域の関係者の方々、検査にご協力をお願いいたします。

対象牛：6か月齢以上の乳用牛及び同居牛

検査方法：血清を用いたスクリーニング法（予備的抗体検出法：エライザ法）

検査手数料（熊本県手数料条例による）：

(1) 検査手数料：1頭につき600円

(2) 証明書手数料：1件につき430円(必要な場合)

### ◎ヨーネ病とは

牛、めん羊、山羊などの反すう動物に、慢性の頑固な間欠性の下痢、乳量の低下、削瘦等を引き起こす疾病で、法定伝染病に指定されています。

感染経路は経口感染が主であり、感染母牛から子牛への感染が伝播経路として重要であり、同居牛への水平感染、母牛が重度のヨーネ病に罹患している場合の胎子への胎盤感染も起こります。ヨーネ病は感染してもすぐには発病せず、妊娠や分娩などのストレスが発病の誘因とされ、半年から数年後に発病します。見かけ上は健康に見えるためヨーネ病とは知らずに導入し、感染を広めるおそれがあります。



※ヨーネ病に有効なワクチンや治療法はありません。

### 近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	韓国(1件)	産卵鶏	令和4年4月7日
	H5N1	韓国(2件)	野鳥	令和4年3月23日～令和4年3月24日
	H5N2	台湾	家きん	令和4年4月2日
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国	野生いのしし	令和4年4月15日
		タイ	豚	令和4年4月1日
		ロシア	豚・野生いのしし	令和4年4月7日

令和4年(2022年)4月28日現在